

令和5年12月27日(水)
 問い合わせ先 水産課
 電話 0479—24—8936(直通)

令和5年水揚量(速報)

このことについて、銚子市漁業協同組合に問い合わせたところ、令和5年中の水揚量は、12月25日までの時点で、188,514tです。

(速報値)

令和5年11月末現在の水揚量		
1位	釧路漁港	184,888t
2位	銚子漁港	180,464t
水揚量の差		4,424t

令和5年12月25日現在の水揚量		
1位	釧路漁港	189,172t
2位	銚子漁港	188,514t
水揚量の差		658t

・両漁港とも今年の市場の開場は12月28日(木)までとなります。

※時事通信社の「全国主要32漁港月間取扱高」の10月分までの累計水揚量上位2漁港について、銚子市において水揚量の聞き取りを行ったものです。

※なお、10月分までの累計水揚量は、1位の釧路漁港が179,604t、2位の銚子漁港が176,835t、3位の境漁港(境港市)が111,878tです。

(参考)

過去3年の12月水揚量

区分	R4	R3	R2
銚子漁港	6,177 t	27,712 t	30,214 t
釧路漁港	3,459 t	3,506 t	2,611 t

銚子漁港 さば、いわし、さんまの3か年水揚げ

区 分	令和3年	令和4年	令和5年 (12月25日時点)
さば	100,715t(35.9%)	30,633t(12.9%)	17,338t(9.2%)
まいわし	158,538t(56.5%)	188,105t(79.4%)	147,816t(78.4%)
さんま	18t	0t	11t
全体	280,413t	237,028t	188,514t

○日本一の記録

1961年に創刊した水産物流通統計年報によると、貝類・海藻類を含む水揚げ量の日本一の連続記録は、釧路で1979年～1991年の13年連続が最長となっている。

連続記録の2位も釧路(1969年～1977年の9年連続)でしたが、現在は、銚子が2011年から2022年の12年連続で2位となっている。

○銚子漁港水揚げ順位の推移

西暦	和暦	水揚量(t)	順位	備考
1997	平成9年	284,431	1	初日本一
1998	平成10年	252,334	1	
1999	平成11年	221,802	2	1位八戸 223,888t
2000	平成12年	200,826	3	1位八戸 241,216t、2位焼津 219,056t
2001	平成13年	237,238	1	
2002	平成14年	187,547	2	1位焼津 227,811t
2003	平成15年	219,725	2	1位焼津 242,824t(小川地区 29,543 を加算)
2004	平成16年	201,045	2	1位焼津 229,901t
2005	平成17年	215,070	2	1位焼津 230,105t
2006	平成18年	261,462	1	
2007	平成19年	218,528	1	
2008	平成20年	252,042	1	
2009	平成21年	223,739	1	
2010	平成22年	214,240	2	1位焼津 218,783t(小川地区 17,868 を加算)
2011	平成23年	225,619	1	
↓				
2022	令和4年	237,028	1	12年連続